

★「高企連携」News & Topics	
北海道	メタ認知の意識づけ etc. 2
東北	将来的なキャリアアップ etc. 3
関東・首都圏	「しずっ娘」がW受賞 etc. 7
東海・北陸	魅せる身体—「解体道」 etc. 9
近畿・中国・四国	鉄鋼業界 etc. 10
九州・沖縄	ブドウ酒商品「佐藤の果」 etc. 11
グローバル	スリランカレポート vol.3 12

支援 & 就職ジャーナル

高校の先生方との連携による紙面編集

『キャリア&就職支援ジャーナル[高等学校版]』は高校の先生方と民間企業・行政機関、および大学・短期大学・専門学校等を結びつけるフリーペーパーです。Career & Job-hunting-activities Times for High School Teachers [通巻第76号]

『学校基本調査(確定値)』にみる 令和7年 高校新規卒業者の進路動向

令和8年の幕開けと共に、進学・就職を問わず多くの高校生が希望進路の実現に向け、気持ちを新たにしていることだろう。

今号では、昨年末の12月26日に文部科学省が公表した『令和7年度学校基本調査(確定値)』をもとに、高校新規卒業者の進路状況に焦点を当てる。大学新規卒業者の進路動向とも比較しながら、高校新卒就職希望者を取り巻く就職環境の最新動向を探っていく。

59.5%が大学(学部)へ進学 「就職者等」は14%に漸減

文部科学省は12月26日、『令和7年度学校基本調査』の確定値を公表した。発表によると、令和7年3月に新しく全日制・定時制の高等学校を卒業した人の総計数は92万9,157人(男子47万3,508人、女子45万5,649人)で、前年度の令和6年3月卒業者の91万8,850人から1万307人の増加が見られた。

進学・就職別に進路内訳を見ていくと、「就職者等」は、全体の14.0%(同0.3%減)に当たる13万271人となり、前年度の13万1,161人から890人減少した。その一因として考えられるのが、進学者数の増加だ。「大学進学者(学部)」に着目すると、令和7年3月卒業生全体の59.5%を占める55万2,780人(対前年度比1万7,059人増)、「短期大学(本科)進学者」は2.6%の2万4,622人(同3,656人減)だった。

「専門学校進学者」については、進学率は15.5%→14.8%と下がって13万7,652人(同4,816人減)で、これに大学・短大進学者を合計すると、全体の77.0%に当たる71万5,054人(同8,587人増)となった。短大と専門学校への進学者はそれぞれ減少したものの、

大学進学者の増加が、高等教育機関への進学者数を押し上げたようだ。

ここに、「各種学校等入学者」3万1,031人、「公共職業能力開発施設等入学者」4,054人を合わせると75万139人(80.7%)となり、実に8割以上の高校新規卒業者が、卒業後も何らかの形で学びを継続する選択をしている現状が明らかになった。

進学者数が増加した背景の一つとして考えられるのは、令和2年度に文科省が新設した「高等教育の修学支援新制度」の支援範囲が拡充されたことだ。この制度は、「授業料・入学金の免除または減額」と、「返還を要しない給付型奨学金」の支給を組み合わせることによって、学習意欲があるにも関わらず家庭の経済的な事情等により進学をあきらめざるを得なかった高校生の進学を可能にするという趣旨のもの。

支援対象は従来、住民税非課税、あるいはそれに準ずる世帯であったが、令和6年度に改定が行われ、対象範囲を世帯年収600万円程度にまで拡大。少子化対策や理工系人材の不足解消も視野に、扶養する子どもの数が3人以上の「多子世帯」と私立の「理工農系の進学者」が新たな支援対象に加わった。

文科省の調査によると、同制度導入前の平成30年度は住民税非課税世帯の進学率が40%だったのに対して、導入後の令和3年度には54%、制度改定後の令和6年度には63%となったことが公表されている。5割以上の上乗せが起きている。

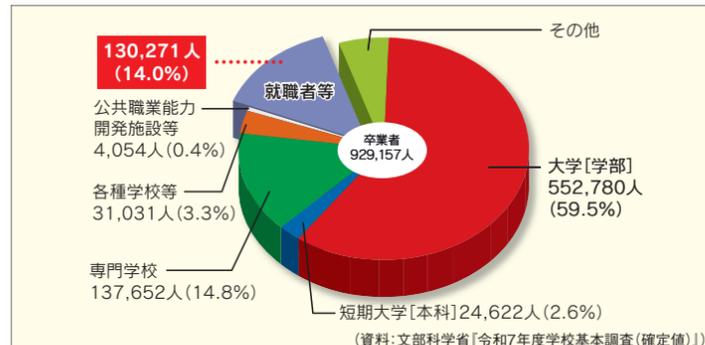
令和7年度にはさらなる改定が行われたことも押さえておきたい。多子世帯における所得制限が撤廃され、私立大4年制の場合は、入学金26万円と授業料70万円程度が初年度の減額支援額として給付されるようになった。令和6年度からの断続的な制度改定を経て、それまでは支援対象外となっていた「中間所得層」以上にもサポート範囲が広がり、より幅広い家庭において、進学前や入学後の学費・生活費を工面することが可能になった結果、進学者の絶対数を押し上げたと同様推定できるだろう。

「建設」「運輸、郵便」が増加 高校新卒者争奪戦の様相

「高等教育の修学支援新制度」による後押しも相まって、高校卒業後に進学をする人が増加する中、14.0%は依然として就職を選んでいく点にも目を向けていこう。令和7年3月高校新規卒業者のうち就職を選んだ高校生は、どのような職業に就いているのだろうか。「産業別」「職業別」に、内訳を詳しく見ていこう。

就職者の実数ベースで見ると、「産業別就職者数」で

■図1 高等学校新規卒業者の進路内訳(令和7年3月)



最多を示したのは、「製造業」の5万914人(39.9%)。以下、「建設業」1万2,654人(9.9%)、「卸売業、小売業」1万1,563人(9.1%)、「公務」1万631人(8.3%)、「運輸業、郵便業」7,253人(5.7%)が上位5位であることが明らかとなった。令和5年度以降の過去3年間の推移に着目すると、上位5位を占める産業の順位については、過去3年間で入れ替わりが生じていないことが分かる。

むしろここで注目したいのは、「建設業」が増加基調であること、「運輸業、郵便業」が3年連続で増加し、令和7年度には過去3年間で最多となっていることだ。背景として考えられるのは、これらの業界において、人手不足が特に顕著に表れている点だろう。

帝国データバンクの「人手不足に対する企業の動向調査(2025年10月)」では、正社員の人手不足を感じている企業の割合は、「建設(70.2%)」、「情報サービス(67.7%)」、「運輸・倉庫(67.1%)」の順に高かったことが明らかになっている。昨年度比に着目すると、「建設」が0.6%増加、「情報サービス」が2.5%減少しているのに対して、「運輸・倉庫」は1.3%増加していることがうかがえる。

こうした状況を背景に、「建設業」と「運輸業、郵便業」において、高校新卒者を積極採用する動きが高まっている。厚生労働省が令和7年12月26日に公表した「令和7年度『高校・中学新卒者のハローワーク

求人に係る求人・求職・就職内定状況」取りまとめ(9月末現在)」から、「高校新卒者のハローワーク求人に係る産業別求人状況」を見てみると、求人数が多い上位5項目は、「製造業」14万9,657人(対前年度比1.0%減)、「建設業」9万368人(同3.4%増)、「卸売業、小売業」5万8,617人(同0.1%減)、「医療、福祉」4万540人(同4.3%減)、「運輸業、郵便業」3万6,220人(同3.9%増)となっていた。

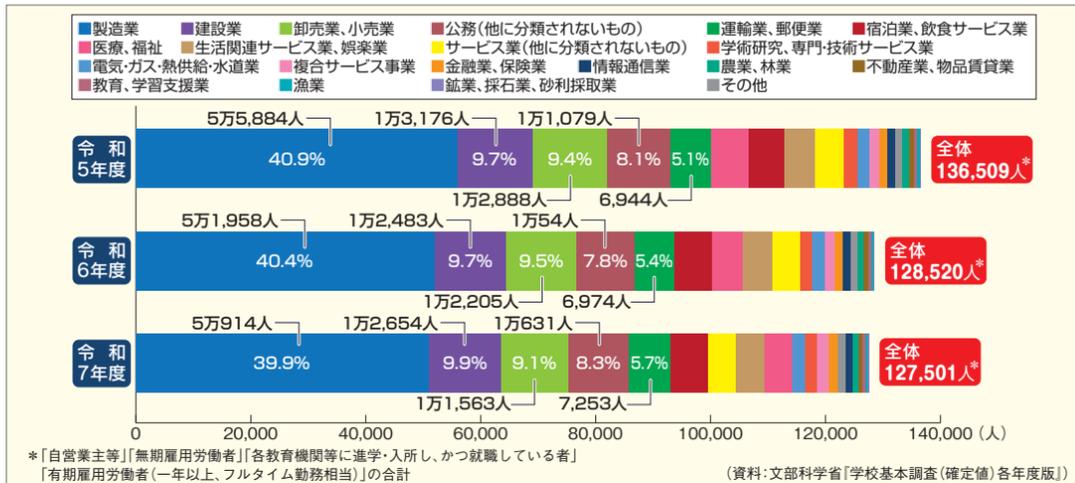
上位5業界の増減率に目を向けると、前年度の令和6年度から求人数が増加したのは「建設業」と「運輸業、郵便業」の2業種のみで、「運輸業、郵便業」の求人数が特に増加していることが分かる。

これら2業界では、深刻な人手不足を背景に高校新卒者の採用意欲が高まったことに加え、「運輸業、郵便業」については、いわゆる「2024年問題」の影響も無視できないだろう。これは、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準(改善基準告示)」が改正されたことにより、令和6年4月以降、ドライバーの時間外労働時間の規制が適用されたというもの。働き方改革が進んだことで、「運輸業、郵便業=長時間労働」というイメージが払拭されつつあり、高校新卒者の就職を後押ししたとも考えることができそうだ。

男女共に「生産工程」がトップ
「専門的・技術的職業」に出身学歴差

「職業別就職者数」につ

■図2 高等学校新規卒業者の主な産業別就職者の比率



北海道 メタ認知を意識づける教育 産業3部門別就業者数

北海道総合政策部 計画局統計課



進学・就職で偏りのない指導 抽象的な進路意識を具体化する

北海道蘭越高等学校（北海道磯谷郡蘭越町、守田英樹校長）は、「自立・創造・敬愛」の校訓のもと、近年の変化の激しい社会において主体的に考え行動できる人材の育成を目指している。進路指導部長の青山望教諭を訪ね、アウトラインをうかがった。

●進路選択を広げる教育

北海道蘭越高校では、普通科高校の学習内容に加え、生徒の興味や能力を伸ばす「総合教養コース」と職業に関する専門的な学習を行う「情報ビジネスコース」を設置している。また、少人数制で個々の長所を最大限に活かした個別指導や英語教育にも取り組み、「体験的」「協働的」「探究的」な学習内容が豊富だ。

総合教養コースでは、学



進路指導部長 青山望教諭

習の幅を広げ、さまざまな角度からものごとを見ることができるよう学ぶ。専門知識を学ぶ中で「分析」「討論」「創作」「発表」などを行い、基礎的な課題解決力や創造力を身につけた人材の育成を目指す。

情報ビジネスコースでは、簿記帳簿能力やパソコン活用を中心とする情報活用能力の分野を学ぶ。社会や企業の仕組みを知りながら、地域連携による商品開発を通じてビジネスで役立つスキルを身につけグローバルな視点を持つ人材の育成に傾注する。

同校では地域環境を活かした教育のほか、体験授業なども充実している。特定の分野の第一線で活躍する

専門家を招いて業種の説明を聞いたり、職業理解を深める職業別ガイダンスが行われたりするなど、進路選択に有益なプログラムが用意されている。

このほか、近隣や札幌圏の企業説明会に参加し、職場の雰囲気などの情報収集ができる機会の創出に努めるほか、インターネットで集めた情報と比較するための応募前見学など、企業研究に力を入れている。

●自走力を高める進路指導

令和8年3月の卒業予定者は15人であると、進路指導部長を務める青山望教諭。そのうち一般企業を目指している生徒は3人だという。近年、8割前後の生徒が大学等への進学を希望する状況にあるものの、進路指導では就職・進学のいずれにも偏りのない構え

を取っている。

1年次は自己分析や情報収集などを通じて、興味・関心のあることを明確にさせるための「自分探し」を中心に、職業別ガイダンスなどの視野を広げる行事を通じて、進路の方向性を絞っていく。2年次では、生徒が希望する企業のインターンシップに参加し、自分の進路をより具体化させる。そして3年次は、「総合的な探究の時間」を活用して進路について、自分発信で探究を深めていく授業を実施する。

また、今年度の3年生が取り組んでいる自主学習では、独自の方法で担任教諭が生徒一人ひとりと自学ノートでやり取りを行っており、進路選択に関する悩みのほか日常生活を送る中でふとした気づきや相談事なども、自由に綴ることができると生徒とのコミュニケーションを図っているのも特徴の一つだ。

●生徒同士で高め合う面接 面接指導では、模擬面接



実際に就職内定が決定した同校生徒の「自学ノート」

を教職員が行う以外に、生徒同士での練習も行う。進学先での特待生を希望している生徒は、面接時の仕草や目線などの細かい箇所にも気を配り面接に挑むため、生徒同士の面接練習には効用が多いという。

自己PRでも、自分が書いたものを隣の人とシェアし、生徒間でメタ認知させる。ほかの生徒と差別化するために、抽象的な内容に対しては、具体的に問いかける指導を意識している。

青山教諭は、「発表やグループワーク、ペアワークなどの授業において、双方向のコミュニケーションを育むことを通じて信頼を構築し、協働できる集団になって欲しい」と、期待をにじませる。進路ガイダンスや相談会などで早くから進路の意識づけを心がけていることが奏功している。

「労働力率」は一貫して低下傾向 拡大する第三次産業の割合

総合政策部計画局

●北海道の「労働力」のエトセトラ

北海道庁の総合政策部計画局統計課生活統計係が令和8年1月5日に更新した「平成22年国勢調査・産業等基本集計結果の概要（北海道分、人口の労働力状態・就業者の産業別構成）」に注目してみよう。

国勢調査は、日本の人口状況を明らかにするため、大正9年以来ほぼ5年ごとに行われており、今回の「平成22年国勢調査」はその19回目に当たる。今回、明らかにされた「産業

等基本集計結果」は、人口の労働力状態別構成および就業者の産業（大分類）別構成等に関する結果を全国、都道府県、市区町村別に集計するもの。

発表された資料から読み取ることができる数値をピックアップしていこう。資料によると、北海道の「労働力人口」は270万1,824人で、平成17年と比較して8万3,970人減少した。15歳以上人口の「労働力率」は58.0%（対前回平成17年調査比0.7%減）で、

平成12年以降一貫して低下している。また、労働力率を「男女別」で見ると、男性は70.7%（同1.9%減）、女性は46.8%（同0.3%増）だった。

●「医療、福祉」で顕著な伸び

「就業者数」を「産業3部門別」で見ると、第一次産業は18万1,531人（全就業者数の7.7%）、第二次産業は42万9,376人（同18.1%）、第三次産業に関しては176万1,386人（同74.2%）となっている。平

成17年の割合と比較すると、第一次産業は0.2%、第二次産業は1.5%低下したのに対し、第三次産業は1.6%上昇しており、昭和35年以降拡大していることが明らかになった。

15歳以上の就業者に限って「産業大分類」を見ると、「卸売業、小売業」が16.7%と最も高くなっており、以下、「医療、福祉」が11.6%、「建設業」が8.9%、「製造業」が8.1%だった。平成17年と比較して就業者数が最も減少したのが「建設業」の5万3,657人（同19.4%減）、次いで「卸売業、小売業」の4万5,201人（同9.7%

減）となっていた。

ほとんどの産業で就業者数が減少している一方、「医療、福祉」「運輸業、郵便業」は増加しており、特に前者では、3万4,153人（同13.2%）増加していた。

産業大分類別の男女別割合を比較すると、男性が高くなっているのは「鉱業、採石業、砂利採取業」88.6%、「電気・ガス・熱供給・水道業」87.1%、「建設業」86.9%だった。それに対して女性は「医療、福祉」75.2%、「宿泊業、飲食サービス業」63.0%、「生活関連サービス業、娯楽業」60.3%が高いことが分かった。

ENEOSウイング 北海道支店

北海道の物流を支える

●基幹事業 石油製品・自動車用品・保険の販売、オートリース・車検整備
●設立 1951年(昭和26年)
●資本金 1億円
●従業員数 2,094人(アルバイト含む5,180人)

会社の強み・社風

当社はENEOS株式会社のグループ会社として、トラックステーション(TS)を中心に運送会社向けに明るく、楽しく、軽油販売に力を入れたさまざまな施策を展開しています。「Hokkaido Standard」を合言葉として、より良いサービスを提供します。

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3-3 札幌Mビル4F
TEL 011-804-3366
URL https://www.eneos-wing.co.jp/

株式会社ノールテック

北海道の電気を守る

●基幹事業 送電線の建設(基礎、鉄塔組立、架線)・保守
●設立 1998年(平成10年)
●資本金 37,000,000円
●従業員数 37人

会社の強み・社風

送電線の建設・保守を行うことで、電気のある生活を支えます。景気動向に左右されない安定感が魅力です。また、入社後から作業研修も充実。技術技能の向上や資格取得により、安全に仕事ができる環境を整えています。

〒007-0880 札幌市東区丘珠町524-105
TEL 011-789-8633
URL https://www.nordtec.co.jp

進路アドバイザーのための基礎知識 2026年度

5月中旬 発行予定

本書は、「進路アドバイザー検定」の公式テキストになっています。受検対策用としてはもちろん、多くの先生方に進路指導の資料としてご活用いただき、高い評価を得ています。

*[第30回進路アドバイザー検定]は、2026年9月に実施予定です。詳細は決定次第ウェブサイト上でお知らせいたします。

お申込み U R L ▶ <https://daigakushinbun.com/adviser/form>

お申込みは、下記ウェブサイトにおいて3月中旬頃より受付予定です。

主な誌面内容

巻頭特集 「学校教育法の改正」「総合的な探究の時間」「高卒就職」「キャリア形成」……など

第1領域 進路指導・キャリア教育に関する基礎知識

第2領域 学校・学費全般に関する基礎知識

第3領域 職業・就職全般に関する基礎知識

大学新聞社 進路アドバイザー検定事務局

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1706 E-mail kentei@daigakushinbun.com
URL https://daigakushinbun.com/adviser

東北 将来的なキャリアアップ 福島県「若者のホンネ会議」



地域に密着した医療・福祉サービスの実現 未経験の新卒入職者を全員で育成する

24時間365日いつでも、優れた医療・福祉サービスの提供を目指す医療法人松田会(本部・仙台市、松田恵三郎理事長)。質が高く、切れ目のない医療・福祉サービスを実現する体制や新卒入職者を大切に育成する教育制度に迫る。

●地域医療・福祉のインフラ

医療法人松田会は、松田病院、エバーグリーン病院、クリニック・介護老人保健施設など、医療から介護まで幅広くフォローするグループ施設を持ち、切れ目なく地域住民の日常生活をサポートしている。

開業は昭和57年、母体である松田病院の前身、松田外科整形外科医院にまでさかのぼる。現在は、一般病床77床、療養病床48床の計125床を設置し、地域医療・福祉に大きく貢献している。

●高校新卒→入職からの資格取得

松田会では、グループの各施設で活躍できる若手の介護職希望者を募り、着実に育成している。介護職としての勤務には、日勤帯も



医療から介護まで自らの医療法人内で完結する体制を実現

あれば夜勤帯の部分もあるため、新卒入職者は当初、デイケアサービスに配属される職員も少なくない。その後多くの人財は、およそ1年が経過する頃には、24時間体制のもと、夜間の見守りや総合的な介護サービスを担う部署に配属されるという。

将来的なキャリアアップとして、新卒入職者が目指すことができるのが国家資格である介護福祉士の取得だ。入職後3年間(1,095日)以上が経過し、かつ介護実務に従事した日数が540

日以上であれば、介護福祉士国家試験の受験資格が取得できるが、実際に国家試験を受験するためには、「実務者研修」の修了も必須となるため、これについては松田会の先輩職員が親身にサポートしている。

実際に働くことで給与を得ることができ、松田会の強力な支援のもと国家試験の受験まで進むことができるのは大きなメリットだろう。松田会が掲げる“人々の幸せづくりのお手伝い”という理念に心ひかれ、松田会で学びたいと感じて入職を決めたと語る新卒入職者の姿も見受けられる。そのためなのだろう、松田会が全くの未経験の入職希望者に求めるのは、人としての思いやりや他者に寄り添うことができる人柄にほかならない。

●手厚い福利厚生

職員の笑顔を大切に、

働きやすい環境づくりの一環として、松田会では福利厚生制度を充実させている。併設の保育所は正式に認可を受けており、0～5歳まで対応が可能となっている。夜間・延長・病児保育など、多様なサービスが好評だという。

院内に設置されているコンビニエンス・ストアは、職員限定で店内商品がすべて10%割引と財布にやさしい。また、准看護師の正看護師へのステップアップを最大限サポート。学費の全学負担なども行っている。さらには、職員専用のレストランでランチと休憩などを楽しむことができるよう配慮されている。

一方、松田会は、先輩職員が若手職員の成長を支援する「メンター制度」を導入している。各施設に応じたメニューが編成されており、非常勤職員も含め、研修自体は勤務時間内に行うのも松田会の流儀だ。スキル面はもちろん、精神的なフォローを中心に、既存職員全員で新しいスタッフの



優れたチームワークで医療・福祉サービスを提供する

育成に取り組む構えができて

いる。専門的な技術やスキルを身につけるほか、社会人として道徳心を成長させているのも松田会の特徴の一つだ。特に、高卒新卒入職者に対して手厚いフォローがなされており、「十九歳の会」「二十歳の会」といった若手社員のコミュニケーションを企画した集いの場が設けられている。

新卒入職者はどうかすると、自分の意見が言えなかったり、上司に対する過剰な遠慮があったりするなど一人で抱え込んでしまう人が少なくない。そうならないように、悩みを聞いたり、聞いてもらったりする“同期”との関わりで感情の共有を大切にする。コミュニケーションを図ることで、働きやすい環境づくりに努めている。



福島をより良くする意見交換会 「若者のホンネ会議 2025」 福島県

●アンコンシャス・バイアス

福島県は令和8年1月19日、“若者に「選ばれる企業・地域」をテーマに「若者のホンネ会議 2025」(意見交換会)を実施したことをウェブサイト上で公表した。

これは、「若者に選ばれる福島の未来」について高校生、大学生、社会人の当事者が本音で語り合うというもの。若者の率直な意見に耳を傾け、職場や学校、暮らしの中にある固定的な

性別役割分担など、新たな気づきや行動につなげることを目的としている。

福島県では、男女共同参画社会の実現に向け、依然として存在するジェンダーギャップ(男女の違いによる格差や不平等)の解消を目指している。そのために、背景にあると考えられるアンコンシャス・バイアスに気づくことが必要であることから、「ふくしまアンコン解消アクション!」として、多様な取り組みを行っ

ている。「アンコン」は、すでに見た「アンコンシャス・バイアス」の省略形で、人は何かを見たり、聞いたり、感じたりした時に、無意識に「こうだ」と思い込むことがあり、これをアンコンという。日本語では「無意識の思い込み」等とも表現されている。

●世代の壁を越えた意見交換

意見交換に先立ち、高校生2人と大学生2人、社会人3人のチームに分かれて、三つのテーマに沿って、ワークショップを実施した。掲げられたのは、①

「福島県を出たいという若者が多いのはなぜ?」②「何が変われば、何が伝われば、若者の県外流出はとめられると思う?」③「『暮らしや働くにおける“固定的な性別役割分担”が県外流出につながっているかもしれない』という仮説についてどう思うか?」——という三つのテーマだ。

意見交換会では、「ここが福島の魅力だ」といった声や、「福島のここが変わると良いのではないか」という率直な意見が、世代や立場の違いを超えて語られていた。「働く」ことや「暮らし」の中における違和感



などに目を凝らすと、「これが当たり前」「これが普通」と思っていたことの中には、実は見直したほうが良いこともあるということに気がつくかもしれない。

参加したある若者は、「福島の問題について大人と意見を交わしたことで、若者一人ひとりが福島の問題を自分ごととして考えることが大切だと感じました」と、感想を述べた。

高校生対象添削教材
書いて考える**進路**

●大学進学希望者の試験対策に有効

生徒に身近な題材で、かつ300字という少ない字数から始めることができるため、文章を書くことが苦手な生徒であっても抵抗感なくスタートさせることができます。

お問い合わせ
ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1706

高校生対象添削教材
書いて考える**キャリア**

●キャリア教育の視点から添削指導

国語力・文章力の向上を促進するための講評に加え、キャリア教育の視点に立ったアドバイスを行うことで、進路選択のミスミスを未然に防ぐこともねがいます。

お問い合わせ
ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1706

かんばれ! 青森県・岩手県・秋田県の高校生

青森県・岩手県・秋田県の高校生のみさんが「進路選択」や「就職」を考える時に役立つ情報が満載! 就職までのスケジュールや面接・小論文・作文試験対策など、「間違いない進路選択」の実現をサポートします。

●好評続刊(2026年度版)

先駆者が語る! **進学・就職成功体験談**

●最新 高校生を全力で応援 **企業インフォメーション**

●特別収録 **求人票 会社見学 チェックシート**

お問い合わせ
ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

髯フジモーターズ

カーライフのトータルサポート

●基幹事業 自動車部品卸売業・自動車整備支援業
●設立 1962年(昭和37年)
●資本金 29,000,000円
●従業員数 124人

●ディーラーや整備工場等への自動車部品販売業務を基幹事業として「安全・快適・環境にやさしいカーライフのトータルサポート」の実現を目指している会社です。自動・半自動部品販売だけでなく、お客様「困った!」をサポートする「整備支援業」も展開しています。

〒036-8076 青森県弘前市境関1-1-7
TEL 0172-27-4221
URL https://www.fujimotors.co.jp

トヨタ自動車東日本髯

東北から世界へ

●基幹事業 トヨタ車の企画・研究開発・生産
●設立 2012年(平成24年)
●資本金 68億5,000万円
●従業員数 約7,000人(令和7年4月1日現在)

●平成年に東北を中部・九州に次ぐトヨタ国内第三の拠点とするために誕生した当社は、コンパクトカーづくりの専門集団です。東北を基盤に地域と一体となり、高い技能と技術力を活かしてまいります。

〒981-3609 宮城県黒川郡大衡村中央平1
TEL 022-765-6000
URL https://www.toyota-ej.co.jp

専門学校の教育的・社会的な役割を可視化し、 地域から世界へとつながる“専門教育の未来像”を発信

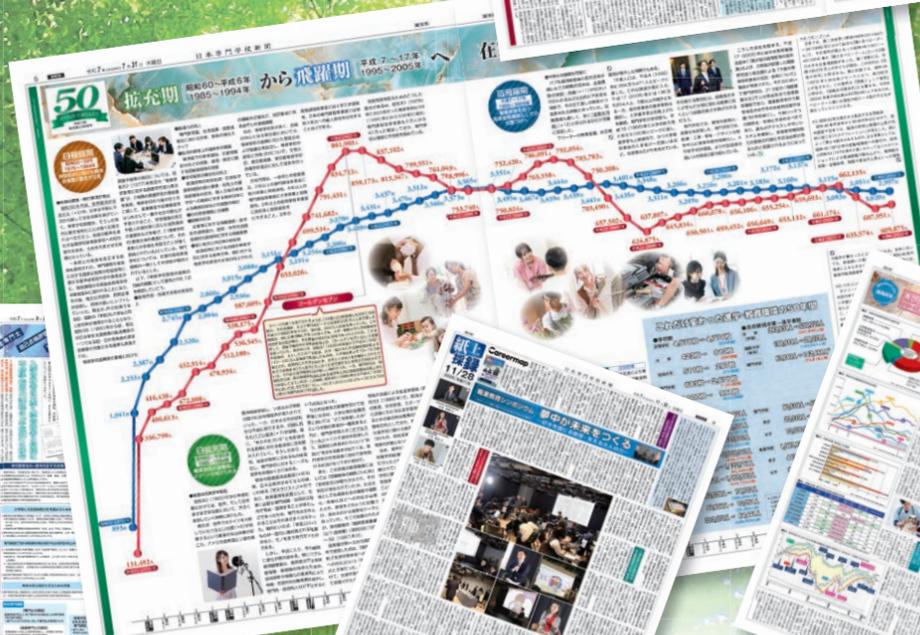


社会のご期待に応じて

学校教育法の一部改正（令和8年4月1日施行）を受けて、専門学校は法制的にも、大学・短期大学等と同等の「高等教育機関」であることが明確になりました。

本紙『日本専門学校新聞』では、この“生まれ変わる専門学校”に関する動向や教育行政、キャリア教育の展開、企業の採用動向や就職環境などの最新情報を正確にお届けいたします。

専門学校を主軸に扱う日本唯一の月刊専門紙として、「産業教育」「専門職業教育」「実学教育」の「現在地」を詳らかにし、あわせて産業社会の将来を展望するなど、進路指導に注力する高等学校の先生方、ならびに現役の高校生、その保護者のみなさまに対して、偏向することのない、かつ高校生がキャリアデザインを描き出すのに資する紙面の実現を目指しています。



定期購読について

年間定期購読をご希望の場合は、
下記のフォームよりお申し込みください。



https://licenseacademy.jp/industry/jvsn_apply

日本専門学校新聞社

本社 東京 支局 札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡

〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-17-24 [事務局・道路情報研究センター・ライセンスアカデミー内]
電話 [編集] 03(5925)1707(代) [営業] 03(5925)1040(代)



1面より

いてはどうか。令和7年3月高校新卒者の上位5項目は、「生産工程従事者」が4万9,154人(38.6%)でトップ。以下、「サービス職業従事者」1万5,816人(12.4%)、「事務従事者」1万4,270人(11.2%)、「専門的・技術的職業従事者」1万1,026人(8.6%)、「販売従事者」9,146人(7.2%)の順となっており、特に「生産工程従事者」が約4割と高い割合を占めている。

大学新卒者と比較しながら、高校新卒者が就職した職業の傾向を確認しておこう。令和7年3月の大学新卒者58万4,304人の進路内訳として区分された一つが「就職者等」のカテゴリーだ。この「就職者等」は、①自営業主等②無期雇用労働者③有期雇用労働者(雇用契約期間が一月以上の者)④臨時労働者だ。一方、「進学者」の中でも「就職している者」は、⑤自営業主等、無期雇用労働者⑥雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者——の中に存在していることが示されていることに加え、⑦すでにみた③の有期雇用労働者のうち、雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者がピックアップされている。文科省が基本統計の上で「就職者」としているのは、①+②+⑤+⑥+⑦の和で求められる44万9,638人となっている。

この「就職者」が就職した職種上位5項目は「専門的・技術的職業従事者」18万5,379人(41.2%)、「事務従事者」10万7,317人(23.9%)、「販売従事者」10万6,761人(23.7%)、「サービス職業従事者」2万4,533人(5.5%)、そして「保安職業従事者」6,428人(1.4%)となっていた。

興味深いのは、高校新卒者で最多となっている「生産工程従事者」が、大学新卒者の上位5項目には含まれていない点だろう。逆に、「生産工程従事者」の割合が高校新卒者に多い理由の一つには、同職業に分類される仕事の特徴が影響していることが考えられる。

日本標準職業分類によると、「生産工程従事者」は、「生産設備の制御・監視の仕事、機械・器具・手動具

などを用いて原料・材料を加工する仕事、各種の機械器具を組立・調整・修理・検査する仕事、製版・印刷・製本の作業、生産工程で行われる仕事に関連する仕事及び生産に類似する技能的な仕事に従事するもの」と定義されている。

機械の取り扱いや修理、検査に関する技術や知識を要する仕事であることから、技能継承を求める企業側の早期から若手人材を育成できるというニーズと、高校新卒者の特性が合致し、採用行動を押し上げたと考えられるかもしれない。

この「職業別就職者数」を男女別に見てみよう。高校新卒者の男子は、「生産工程従事者」が3万7,348人(45.8%)と最も多く、以下、「専門的・技術的職業従事者」8,664人(10.6%)、「建設・探掘従事者」8,312人(10.2%)、「サービス職業従事者」5,694人(7.0%)、「保安職業従事者」5,546人(6.8%)と続いた。

女子のトップは、男子と同様の「生産工程従事者」1万1,806人(25.7%)で、2位以降は、「事務従事者」1万964人(23.9%)、「サービス職業従事者」1万122人(22.1%)、「販売従事者」5,559人(12.1%)、「専門的・技術的職業従事者」2,362人(5.1%)の順に高くなっていった。

「事務従事者」が女子のみに見られる項目であることや、男子の「サービス職業従事者」の割合が女子に比べて少ないことから、高校新卒者の男子は、より現場での技能や体力が重視される仕事に就いている人が相対的に多い傾向があることがうかがえる。

さらに着目したいのは、「専門的・技術的職業従事者」の項目が、男女共に大学新卒者よりも低くなっている点だ。大学新卒者では、男子に関して8万7,483人(39.2%)、女子が9万7,896人(43.2%)と男女共にトップでいずれも約4割を占めている一方、高校新卒者では、男子が約1割、女子については0.5割という低い水準になっている。

この背景には、「専門的・技術的職業従事者」が、高度な専門性を求められることと無関係ではあるまい。日本標準職業分類には、「専



門的・技術的職業」の遂行に当たり、「大学・研究機関などにおける高度の科学的訓練・その他専門的分野の訓練、又はこれと同程度以上の実務的経験あるいは芸術上の創造的才能」が必要と提示されている。

大学教育と同水準の経験や才能を要するという性質上、大学新卒者と高校新卒者間の就職者数に大きな差が見られたことについては説明できそうだが、大学新卒者は女子の割合が男子よりも4割高くなっている一方、高校新卒者は、女子の割合が男子の半以下となっている点は見逃せないだろう。高校卒業後すぐに就職をする10代の若者、とりわけ女性が、高校3年間で身につけた専門性や技術を活かして活躍できる環境の構築という面では、依然として課題が残されているように映る。

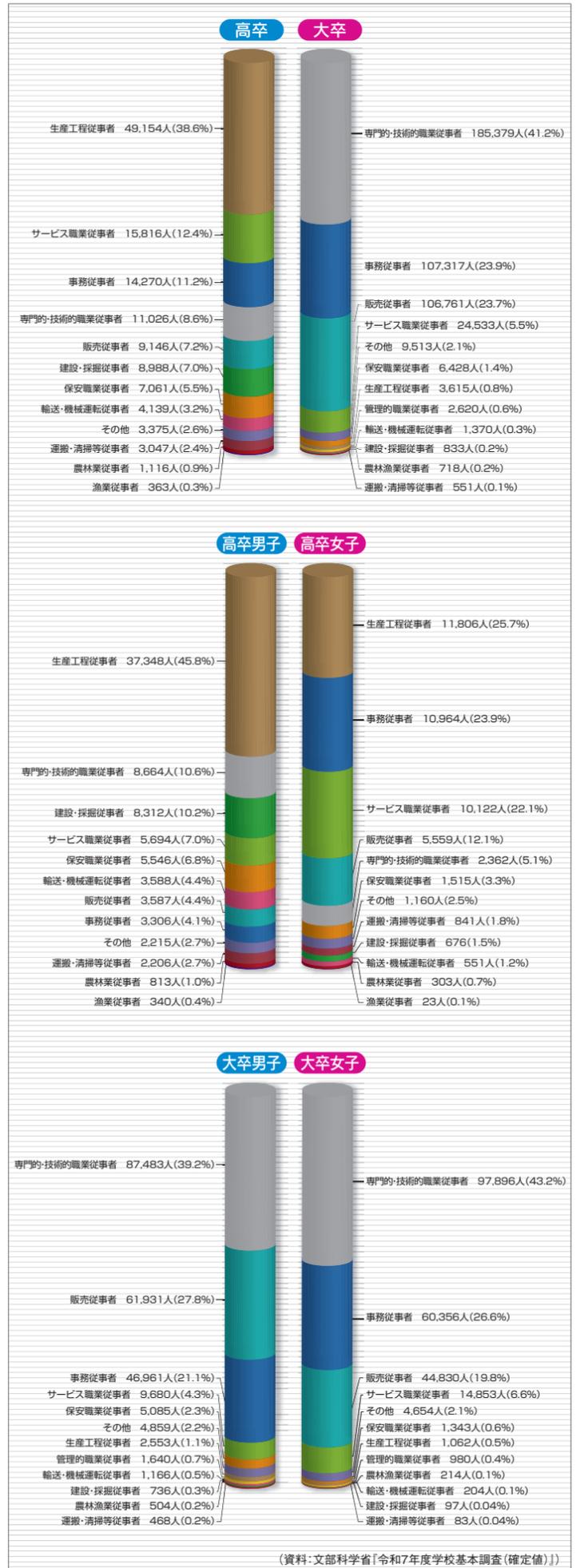
産・学連携で高度な専門性にふれる
マイスター・ハイスクール事業

高校段階における職業人材育成の取り組みとして注目したいのが、文部科学省が令和3年度から進める「マイスター・ハイスクール(次世代地域産業人材育成刷新事業)」だ。

これは、産・学連携のカリキュラム開発などの取り組みを推進する先進的な専門高校等を「マイスター・ハイスクール」に指定し、産業界と連携した教育活動を実施するというもの。地域産業の持続的な成長を牽引できる最先端の職業人材育成を目的としている。具体的には、企業等における施設・設備の共同利用をはじめ、第一線で活躍する企業人や技術者、研究者等を教員として採用する動きが目立ってきている。指定校ではこれまでに、地域企業による「出張授業」や「商品共同開発」など、多彩な活動が行われてきた。

同事業の成果として指定校からは実際に、専門知識や技術に対する興味・関心や専門分野に対する進路意識向上などが報告されてい

図3 高等学校新規卒業者と大学新規卒業者の職業別就職者数内訳(令和7年3月)



る。実際の産業社会で活躍する多様なプロフェッショナルとの交流を通じて高度な技術にふれ、体験するという高校時代の実践的な学びが、より専門性を活かしたマッチング性の高い職業選択につながる可能性は少なくないと言えそうだ。

マイスター・ハイスクール事業は令和7年度までの期間限定の取り組みではあるが、高校段階から高い専門性や技術にふれる機会の充実、事業終了後も何らかのリレーが行われていくと好ましいだろう。今後は多様な人材育成を促進するという面においても、女子生徒に特化するプログラムの提供などを視野に入れて産・学連携の取り組みを推進することが、学歴や性別を問わず幅広い職業人材が活躍するために、大切なことの一つに違いない。

高校生の確かな進路選びをサポートします!!

大学新聞社 ☎03-5925-1668

お問い合わせ

ライセンスアカデミー ☎03-5925-1656

仕事とキャリアデザインシリーズ

高校を卒業後、進学を果たしたとしても、最終的には多くの人が「働く」ことになるでしょう。「キャリアデザインシリーズ」は、就職までのプロセスはもちろん、将来のキャリアパスを切り拓いていく上で有用な資格や検定試験等に関する多様なトピックを提供し、働くことに対する意識づけを担います。



進路のてびき 就職・公務員編
■キャリアデザイン準備号
■就職活動スタート号
■就職活動大応援号

就職・仕事・資格・起業につながる学校
仕事・資格ガイド
仕事から見つける学校資料請求本
地元で働く! ぐんまの仕事ガイド

進路選択&専門学校の学びシリーズ

『アプローチマガジン』は、最終学年になる前の高校1・2年生向けに、高校卒業後の「進学」や「就職」など、さまざまな進路について整理したガイドブックです。『専門学校 進路のてびき』は、専門学校全般に関するA to Zをまとめると共に「職業教育」について考えていきます。



アプローチマガジン
■東日本版
■東海・北陸版
■近畿・中国・四国版
■九州・沖縄版

専門学校 進路のてびき
■北海道版 ■東北版
■東日本版 ■東海・北陸版
■近畿版 ■中国・四国版
■九州・沖縄版

職業実践専門課程 ガイドブック

大学入試合格応援シリーズ

志望校合格を目指す高校生のための進学情報誌です。『大学受験合格 GUIDE BOOK』の「春版」では、年頭に実施されたばかりの「大学入学共通テスト」の結果について、イチ早く誌上分析・解説を行い、「秋版」では、「憧れの大学」に進学を果たした現役大学生から寄せられた「進路サクセスストーリー」を紹介。各誌紙とも、個別大学・短期大学・専門学校等の最新情報と共に入試日程等もお届けします。



大学受験 合格 GUIDE BOOK (春版)
大学受験 合格 GUIDE BOOK (秋版)
総合型選抜&AO入試 受験ガイド
地方入試告知リーフレット

■東日本版
■中部・西日本版

■北海道版 ■東北版
■関東・首都圏版 ■甲信越版
■東海4県版 ■北陸版
■近畿版 ■中国・四国版
■九州版 ■沖縄版

『系統・分野別情報誌』シリーズ(7分冊)

高校卒業後の進学先を選ぶ上で重要な判断基準となる「好き」「興味」「してみたい」に焦点を当て、これに関連する多様なデータと共にニュース&トピックスおよびアウトラインを提示し、系統・分野・領域・ジャンル別の全7分冊に、分かりやすくかつ体系的に編集しています。



2027年度版 (令和9年度用) 最新刊!

No.1 食物、栄養、調理、製菓、生活、服飾、健康、スポーツ分野
No.2 理容、美容、メイク、エステ、ネイル分野
No.3 国際、経済、経営、法、公務員、ビジネス、語学、文学、教育、留学、ホテル、トラベル、エアライン分野
No.4 芸術、音楽、造形、美術、デザイン、まんが、イラスト、アニメ分野
No.5 理・工学、環境、情報、通信、機械、自動車、建築、農学、バイオテクノロジー(生命工学関連)分野
No.6 看護、医療、福祉、保育、幼児教育分野
No.7 動物、植物、バイオテクノロジー(農学関連)分野

大学・短期大学研究シリーズ

『大学・短大 進路のてびき』は、大学と短期大学の学びや入試・入学選抜情報、学費の実際など、「受験生なら知っておくべき」基本情報やアウトラインを詳述。『大学探しBOOK』は、「学びたいこと」から進学先が絞り込めるように3分冊構成になっています。



大学・短大 進路のてびき
■東日本版
■中部・西日本版

学べることから見つける大学探しBOOK
① 人文科学、社会科学、教養・総合科学
② 理学、工学、農学、医療・保健
③ 教育、芸術、家政・生活科学

保護者&教員、自力進学シリーズ

保護者世代に現代の高校生との対比を示す『保護者のみなさまへ』、進学資金に関する多様なヒントを伝える『自力進学 進学支援・学費サポートガイド』、また進路指導資料としての評価も高い『高校担任教諭必携進路指導ハンドブック』など、多様な視点から高校生の進路選択を考えていきます。



保護者のみなさまへ
■東日本版 ■中部・西日本版

自力進学 進学支援・学費サポートガイド
高校担任教諭必携 進路指導ハンドブック

高校生のための進路応援シリーズ「地域特集ガイド」等

各地域の地場産業や地域特性などから考える進路&進学情報誌です。地元の大学・短期大学・専門学校、また企業等の最新情報はもちろん、当該エリア・路線の交通機関&主要通学ルートなどをはじめ、進学事情や通学環境、労働市場や産業構造等も解説しています。



がんばれ! 青森県・岩手県・秋田県の高校生
がんばれ! 山梨県の高校生
長野県の高校生のための進路応援BOOK
新潟県の高校生のための進路応援BOOK

福井・石川・富山の高校生のための進路応援BOOK
愛知県三河地区・静岡県西部の高校生のための進路応援BOOK
中国・四国地方の高校生のための進路応援BOOK
沖縄県の高校生のための進路応援BOOK

イベントガイドシリーズ

『進路相談会徹底活用ガイドブック』では、会場形式相談会の概要を示しています。また、『見学会のてびき』は、企業または大学・短期大学・専門学校など、各種見学会参加時に活用効果が高いハンドブックです。『オープンキャンパスBOOK』は、各校のオープンイベントを特集した進学情報誌です。



進路相談会徹底活用ガイドブック
■東日本版
■中部・西日本版

見学会のてびき
■北海道版 ■東日本版
■近畿版 ■中国・四国版
■九州・沖縄版

オープンキャンパスBOOK
■北海道・東北版 ■東日本版
■中部版 ■北陸版
■近畿・中国・四国版 ■九州・沖縄版

その他多様なラインナップ

令和4年度からの新しい教育課程に盛り込まれた「総合的な探究の時間」を念頭に置いた『探究への導き』をはじめ、看護・医療系学校や外国人留学生等、ある特定のテーマやトピックスに絞ったガイドブックなど、非常に多彩な視点とユニークな切り口が好評です。



探究への導き
医療系学校入試データ
日本留学データ
Global Education
フューチャーライブガイド
■東日本版
■中部・西日本版

*上記のほかに豊富に取り揃えています。また、新年度版の発行や、統合・合本・合冊化等に当たり、名称や編集内容が変更となる場合などがあるほか、年度によって発行されない場合があります。詳しくは、大学新聞社(☎03-5925-1668)またはライセンスアカデミー(☎03-5925-1656)までお問い合わせください。

関東・首都圏 「しずっ娘。」がW受賞 効果大の二人担任制

静岡県立沼津商業高等学校 「お茶の静岡」復権に向けた気概と挑戦 企業と共同開発の「しずっ娘。」で勝負

静岡県立沼津商業高等学校(静岡県駿東郡清水町、中村正義校長)は、「総合ビジネス科」「情報ビジネス科」を設置し、商業分野の学びを深めながら社会で即戦力となる人材の育成に力を入れている。同校在校生の開発商品が大賞を受賞したフードグランプリの様子をお届けする。

●門戸を開放する新機軸

令和7年11月1日、東京・池袋のサンシャインシティ噴水広場(アルパB1)で「～未来を創る～第12回全国高等学校フードグランプリ」が開催された。

これは、高校生が地域の特産品を用いて企業と共同開発した商品のナンバーワンを決める大会だ。12度目の開催となった本大会からは、これまで商業高校のみに限っていた募集対象を撤廃。新たに「学校の活動(授業、部活動、課外活動など)で食品の商品開発を行う全国の高等学校」に拡げた。「食」を通じて地方創生と人材育成による市場の活性化を目的に地域を盛り上げ、高校生に体験的な学



完売御礼の人気を集めた「しずっ娘。」

習機会と後援団体との接点を増やす場を創出する。

●和洋スイーツで大賞受賞

「大好きな静岡茶を再び日本一へ！」。審査員や来場者へ力強く訴えたのは、沼津商業高校の「地域活性部 写真取材班」に所属する2年次の生徒5人だ。観光土産製造・販売を行う氏原製菓株式会社(本社静岡・伊東市)と共同で商品を開発し、「しずっ娘。」とネーミング。沼津茶を使用した香り高い生地でミルク餡を包んだこの商品は、茶葉の風味と餡の甘さが絶妙に融合し、「食べる抹茶ラテ」のような味わいを楽しむことができる。

農林水産省発表の「作物統計」によると、令和6年度「荒茶生産量」は1位が鹿児島県の2万7,000トン、次点が静岡県の2万5,800トンで、統計開始以来初めて静岡県が2位に甘んじた。



ダブル受賞を果たした沼津商業高校の米山教諭(左)、生徒5人(中)、氏原製菓社の2人(右)

これを受けて静岡茶の復権と、国内・外に魅力を伝えるため、沼津商業高校生が「立ち上がった」という。

大会当日、同校の生徒は「しずっ娘。」の試食販売ブースで、来場者に元気良く商品の魅力を宣伝し、プレゼンテーションも披露。練習した努力が実り、寸劇を交えた息の合った発表は審査員の共感呼び込み、結果、大賞である「文部科学大臣賞」と「プレゼンテーション優秀賞」のダブル受賞を果たした。

参加したある生徒は「達成感と安心感、嬉しさが胸が一杯です」と、涙ぐみながらも喜びをかみしめた。

指導を担当した米山圭一郎教諭は「今回の経験が、生徒の将来につながる確かな自信になることを願っています」と、熱いエールを送った。

東京都立練馬工科大学 生徒を支える指導方針 ミスマッチのない進路へ導く

●生徒に寄り添う平素の指導

東京都立練馬工科大学(東京都練馬区、林努校長)は、モノづくりを幅広く学ぶ「キャリア技術科」を設置する専門高校だ。

同校は平成17年度、東京都教育委員会が指定する「エンカレッジスクール」の1校として採択された。エンカレッジスクールとは、これまで能力や適性を十分に活かすことができなかった生徒を支え、生徒が自分の目標を見つけチャレンジする環境を実現している学校のことを指す。

練馬工科大学では1年次に毎朝10分間の「朝学習」を通して基礎学力の向上・定着を図るほか、1クラス当たり二人の教員を配置する「二人担任制」を採用し、生徒の学校生活を下支えしている。

生徒は2年次の進級時に「機械設計基礎」「電気回路基礎」「デザイン基礎」の中から専門分野を選択し、3年次ではさらに細かい5系列から選択して、技能実習の経験を積み上げて



進路指導主任 小澤 誠志 教諭

いく。

●十分な業界・職種研究へ

練馬工科大学の卒業後の進路の傾向は、約6割が就職、約4割が進学だという。就職希望生徒は、ミスマッチとならないよう「社会にはどのような仕事があるのか」を十分に調べさせていく。具体的には、「業界研究会」や「インターシップ」などを1年次から実施し、日常生活でふれる機会があまり多くない工業分野の仕事を知る手がかりを提供する。

「自分のやりたいことができる会社に長く勤めてもらいたいと思っています」と、小澤教諭。練馬工科大学は、今後も生徒一人ひとりの志望進路実現に向けた進路指導に注力する。

AsahiKASEI 旭化成建材株式会社

未来を見据え新たな価値を創造する

●基幹事業 建築材料や土木資材等の製造および販売
●設立 1976年(昭和51年)
●資本金 30億円
●従業員数 871人

会社の強み・社風

当社は、旭化成の建材部門として創業しました。現在は「ALC(軽量気泡コンクリート)」「構造資材」「断熱」「基礎」の4事業を幅広く揃える建材メーカーとして、良質軸に、建築物の成立に必須となる基幹部品を指しています。

〒306-0493 茨城県猿島郡境町大字字谷106
TEL 0280-87-5248
URL https://www.asahi-kasei-jobs.com/highschool/sakaj_hozumi/

MS&AD MS&ADグランアシスタンス

電話の先のお客さまへ笑顔を届ける

●基幹事業 総合アシスタンス・コールセンター事業
●設立 1989年(平成元年)
●資本金 1億円
●従業員数 1,415人

会社の強み・社風

当社は自動車や住まい、海外でのトラブルに対して、電話で解決のお手伝いをする「総合アシスタンス・コールセンター」を運営しております。お客さまに寄り添った対応で、日々安心して届けています。

〒359-0037 埼玉県所沢市くすのき台1-11-2 西武第二ビル6F
TEL 050-3818-1462
URL https://www.grand-assistance.co.jp/

木村電子工業株式会社

品質を支えるのは人の力

●基幹事業 各種電子機器の設計・製造
●設立 1965年(昭和40年)
●資本金 40,000,000円
●従業員数 78人

会社の強み・社風

「板金設計」からはじまり、「資材調達」「精密板金」「組立配線」という四つの技術を提供してお客様ができる方やモノづくりが好きの方、自分ルサポートしていただくと物事を考えられる方を求めています。

〒196-0021 東京都昭島市武蔵野2-7-7
TEL 042-544-3211
URL https://www.kimura-ei.co.jp/

京王自動車株式会社

信頼され、選ばれる京王自動車

●基幹事業 タクシー事業を中心にハイヤー、バスの旅客運送業、自動車整備業
●設立 1949年(昭和24年)
●資本金 1億円
●従業員数 1,568人

会社の強み・社風

私たちは、整備工場という「クルマの病院」で、自動車の治療や最良の状態を維持するカードクターとして、その先の笑顔です。知識や技術のために今後も未来活かしながら、お客様へ向かって走り続ける安心と信頼に尽かっています。

〒206-0011 東京都多摩市関戸2-37-3
TEL 042-314-8033
URL https://www.keiotaxi.co.jp/

水ing 水ing株式会社

水の先をつくれ。

●基幹事業 上・下水道、し尿、汚泥再生処理、浸出水処理などの水処理事業
●設立 1977年(昭和52年)
●資本金 55億円
●従業員数 4,110人(子会社含む)

会社の強み・社風

「水」を通じて、いつまでも社会に貢献し続ける会社でありたい、それが「水ing」に込めた思いです。全国300拠点以上に技術を磨き、成長で多くのエンジニアが活躍。社会インフラがあります。

〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル27F
TEL 03-4346-0603
URL https://www.swing-w.com/

太陽鋳油株式会社

人と人の想いを未来へつなぎます

●基幹事業 エネルギー販売
●設立 1971年(昭和46年)
●資本金 44,000,000円
●従業員数 1,000人

会社の強み・社風

当社は物流を支える運送会社に向けた軽油販売をメインに、東日本エリアで直営61店舗のネットワークを有し、成長する喜びを感じます。充実した社内教育制度で社員を育てています。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-8-1 TT-2ビルディング6F
TEL 03-5641-5215
URL https://www.taiyou-koyu.co.jp/

DENKOSHA 株式会社電巧社

シゴトをアソベ!

●基幹事業 配電盤メーカー・電気商社・サイバーセキュリティ等
●設立 1928年(昭和3年)
●資本金 90,000,000円
●従業員数 325人

会社の強み・社風

全国の空港および学校、病院、オフィスビル、テーマパークなど、建物にとって必要不可欠な設備を手がけています。健康経営優良法人「プライト500」の社員働きやすい環境づくりや教育、5年連続認定中です!

〒105-0014 東京都港区芝2-10-4
TEL 03-3453-2221
URL https://de-denkosha.co.jp/

株式会社東横イン電建

全国を旅して「一緒にホテルをつくらう!」

●基幹事業 建設業(電気工事、配管工事)
●設立 1990年(平成2年)
●資本金 1億円
●従業員数 200人

会社の強み・社風

当社は全国に展開するビジネスホテル「東横INN」のみを専門に建設する会社です。景気に左右されることがなく、安定して長く働ける会社です。建設業ですが、携わる仕事は設備工事のため危険な作業はありません。常にホテとノウハウがあります。

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-7-4 聖徳ビル2F
TEL 03-5480-1045
URL https://www.toyoko-inn-denken.com

西東京バス株式会社

ありがとうを心から

●基幹事業 自動車による旅客運輸業
●設立 1963年(昭和38年)
●資本金 1億円
●従業員数 820人

会社の強み・社風

西東京バスは八王子・西多摩エリアで地域のみなさんの暮らしを支えている京王グループのバス会社です。運転士、整備士、事務員など入社後の活躍の場はさまざま。年の近い先輩たちがしっかりとサポートします。地元で長く働きたい人に選ばれている会社です。

〒192-0046 東京都八王子市明神町3-1-7
TEL 042-646-9039
URL https://www.nisitokyobus.co.jp/

Panasonic パナソニックマーケティングジャパン

日本のくらしを、未来を、家電でもっと豊かに。

●基幹事業 パナソニックブランド家電商品の卸販売や修理等
●設立 2006年(平成18年)
●資本金 1億円
●従業員数 5,781人

会社の強み・社風

パナソニックの家電をご購入いただいたお客さまへ、確かな技術と心こもったサービスを提供し、笑顔と安心をお届けすることを目標としています。その言葉を直接いただく期待を超えたサービスで、お客様「困った!」をです。

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-5-20 パナソニック目黒ビル
TEL 080-8543-0285
URL https://www.panasonic.com/jp/company/pmj.html

大学・短期大学、企業 の多様な取り組みや活動を 「学び」&「キャリア」の視点と取材で多面的に描き出します



●高等学校教諭のみなさまに愛されて四半世紀

『大学新聞』が創刊したのは、平成12(2000)年1月。
 高校生の進路指導に役立つ大学・短期大学の情報や教育現場の
 現状を取り上げる月刊専門紙として誕生しました。

高等教育をめぐる情勢や教育行政、大学入試の動向、
 また、高校生・大学生を取り巻く就職環境や労働市場、
 キャリアデザインなどに資する情報もお届けしています。

先行きが不透明で見通すことが困難な時代だからこそ、
 より確かな進学・教育情報や就職市場動向
 などをお伝えする『大学新聞』を、
 ぜひご活用・ご愛顧ください。

- 全国の大学・短期大学・高等学校
 にお届けしています
- 大学・短期大学など、高等教育情報に
 特化した日本唯一の月刊専門紙
- 個別優良企業やCSR企業、あるいは
 ゼブラ企業やスタートアップ、ユニ
 コーン企業、堅実経営企業など
 の「社会貢献活動」や「SDGs研究」
 「高企連携」「学社融合」など、「学び」
 と「職業」「業界」、そして「仕事」に
 関するキャリアデザイン系領域の最
 新ニュースやトピックが満載
- オープンキャンパス、グローバル系、
 企業の最新インフォメーションも充実



大学新聞社
<https://daigakushinbun.com>

本社 東京 支局 札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡

〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-17-24
 電話【編集】03(5925)1668(代) 【営業】03(5925)1931(代)

詳しくはウェブサイトへアクセス!

東海・北陸 働き方から考える就職 魅せる解体——「解体道」



地域社会との連携で実習機会を確保 就職先に選ぶ企業の変わりゆく特徴

岐阜県立八百津高等学校(岐阜県加茂郡八百津町、岩島章雄校長)は、昭和18年に開校した歴史のある学校だ。小規模校ならではの個に寄り添った学習支援や進路指導が評判だ。進路指導主事の吉井賢吉教諭を訪ね、具体的な進路指導や生徒の進路意識の変化・傾向についてお話をうかがった。

●先駆的な教育活動を展開

八百津高等学校は、令和5年に創立80周年を迎えた伝統ある単位制普通科高校だ。教育目標として「自律、実践、創造」を定め、生徒の自己肯定感や自己有用感、社会で通用する力の醸成に注力している。岐阜県内で四校の公立高校が設置する「連携型中高一貫教育校」を構成する一校で、同町の中学校二校と連携するなど、中学校と高校の連続性を強めた多様な教育活

動を展開している。

八百津高校は、「カレッジ」「普通」の2コースを設置し、生徒が希望する進路に幅広く対応する。2年次以降に普通コースは「進学コース」「教養コース」に分かれて学ぶ仕組みで、特に教養コースでは、希望者を対象に「デュアルシステム(企業実習)」で単位認定する。これは、県内四校が導入するキャリア教育制度の一環として機能している。同校では、製造やサ

ービス、販売、保育、介護など、多分野の地元企業と連携し生徒の希望に応じた実習を行う。週1回の会社出勤を1年間続けることで、労働の意義や社会人として必要な姿勢を理解させることが狙いだ。

●働き方重視の就職先選び

八百津高校の進路内訳は、例年、4割が進学し6割が就職する。「令和7年度は例年以上に地元志向の強い生徒が多かった印象があります」。そう本年度の3年生の特徴について振り返るのは、進路指導主事の吉井賢吉教諭だ。続けて、昨今は働き方を重視する傾

向があると指摘する。「勤務先は自宅付近」で、「生活リズムが維持しやすい勤務形態」を希望する生徒が少なくないという。また、昨夏の猛暑を受け、冷房を完備しているかどうかを重視する動きも見られた。

就職希望生徒の約8割が、説明会など直接話を聞いた会社に就職を果たした。生徒と年齢に近い若手社員による説明は、特に印象に残ったようだ。説明会前後における生徒の意識の変化について「若い社員の方から話を聞くことで、社会人になった数年後の自分を投影しやすく、親近感を持った様子でした」と、吉井教諭。

また、求人票のデジタル化によって、求人票の確認が容易になり、企業選びに保護者が関与するケースが



散見されるという。経済的な負担を軽減するため、普通自動車運転免許の取得費用や業務上必要な資格を取得するための専門学校に通学費用を負担するなどの制度がある企業に就職を決める生徒もいた。

吉井教諭は「卒業後に就職して早くからスキルを身につけるほうが望ましい場合もあるでしょう」と、持論を展開。実社会では、実務で高い専門性を発揮できる優秀さが重要視されるとして、一面的に最終学歴を重んじる風潮に対して懐疑的な見方を示した。



「壊す仕事」から「環境を考えた解体」に変化 プロフェッショナルの技術が魅せる解体ショー

株式会社宗重商店(本社石川・金沢市、宗重重泰代表取締役)は、昭和14年の創業以来、解体の専門業者として誇りと自信を持ちながら地域と共に歩んできた。安全衛生や特別技能の教育に注力し、「魅せる現場」「安全な現場」を目指している。経営管理室室長の瀬戸貴博氏を訪ね、社風や解体業の魅力についてお話をうかがった。

●解体の道を極める「解体道」

株式会社宗重商店は、「解体事業」を中心に「リサイクル事業」「不要品事業」「リユース事業」「海外事業」「幼児教育事業」「仮設足場・建設事業」「建機整備販売事業」「協同組合事業」「不

動産事業」の10事業を六つの会社で展開しているグループ企業だ。

企業理念「お客様の未来と豊かな地球環境のために」を掲げ、多様な事業を通して「「いない」を「いる」」に変える会社を合言葉に、モノに新しい命を吹き込むことで、これまで数多くの地域住民の信頼と期待に応えてきた。

その中でも、解体工事の施工高は石川県内

トップを誇るといい、最大の強みは、「壊し屋」ではなく、近隣住民への細やかな配慮や顧客の安心・安全を約束する「サービス業としてのプロ意識」にある。

「解体」とは、一般的に建物を建て替える、家を更地にするなど、新しい何かを創るために古いものを壊すことを指す。しかし、解体に伴ってホコリや振動、騒音などが出てしまうことを心配する声は少なくないだろう。

宗重商店では、解体を安全に進めていくことを常に考え、近隣住民に対する事前の工事説明や挨拶を徹底。工事中も、周辺道路や使用する重機の清掃を念入りに行うだけでなく、解体工事で出た廃材は同社が

持つ施設で可能な限りリサイクルし、廃棄物を減らすことで地球環境の保全を心がけている。こうしたプロフェッショナルの精神を「解体道」と呼び、常に美しく、ていねいに、心を込めながら、「魅せる解体」や「安全な現場」を目指している。

●若さと熱意あふれる社風

「建設業」や「解体工事」と聞くと、一見地味なイメージを持たれがちだが、近年は建物の老朽化や都市の再開発が進み、今後さらに解体が必要な建物は増えていくと言われている。

そのため、解体工事のニーズは高まる一方であり、社会基盤を支える安定性や将来性、そして大きな働きがいがある仕事の一つと言えるだろう。

経営管理室室長の瀬戸貴博氏は「建設現場で重機を操作する重機オペレーター

を目指す若い社員が多く、活気に満ちた社風が特徴です」と、語る。

社員がモチベーションを高く維持できるように、給与のベースアップを毎年行うほか、職場環境の改善を推進することで「安心して長く働ける職場づくり」に努めている。

「社員同士の仲が良いことも自慢の一つです。高い技術力とサービス精神で街の未来を創りながら、仲間と共に成長できる熱意あふれる職場だと言えるでしょう」と、瀬戸氏は続ける。

リサイクルやリユースなどの「さまざまなReを通じて、新しい街と時代をつくる」ことをミッションとし、社会に役立つ事業と人材を創出する株式会社宗重商店。同社では今後も、「解体道」に基づいた魅せる解体事業を通して、街の未来と新しい価値を創出していく構えだ。



福井・石川・富山の 高校生のための 進路応援BOOK

令和9年度入学生志望者用 2027 近刊

北陸3県(福井・石川・富山)で就職を希望する際に活用できる進路ガイドブックです。就職活動における面接対策など、希望の進路を実現するためのヒントを紹介しています。

▲好評既刊(2026年度版)

進路環境とキャリア設計 ひとりで暮らしにいくら必要? ●進路事情 ●進学費用 ●進路研究 ●自力進学

お問い合わせ ライセンスアカデミー 千169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24 TEL 03-5925-1656

愛知県三河地区・静岡県西部の 高校生のための 進路応援BOOK

令和9年度入学生志望者用 2027 近刊

将来、活躍を目指すフィールドを意識したキャリアを構築するために、有益な情報を幅広く掲載! 進学→就職の成功体験など、地元出身の先輩たちからのメッセージを含む情報等が充実しています。

▲好評既刊(2026年度版)

巻頭特集 「進学」&「就職」——進路展望 ポストコロナの「進路環境」と「今後の日本社会」

本文特集 愛知県三河地区・静岡県西部の 高校生の進路事情

お問い合わせ ライセンスアカデミー 千169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24 TEL 03-5925-1656

AIRIKU 愛知陸運株式会社

時と人をつなぐ

●基幹事業 自動車部品輸送事業、貸切(車扱)運送事業、航空貨物関連事業

●設立 1942年(昭和17年)

●資本金 4億6,500万円

●従業員数 1,398人

会社の強み・社風 トヨタ自動車株式会社の物流子会社として、愛知県を中心に全国41拠点を擁する総合物流企業です。入社後1カ月半の社内研修があり、運転技術はもちろん、会社のルールなどに生も充実しています!

いつでも先輩がいてねいにサポートします。大企業ならではの福利厚生も充実しています!

〒473-0934 愛知県豊田市長前町住吉32 TEL 0565-99-7521 URL https://www.airiku.co.jp/

JTEKT 株式会社ジェイテクト

No.1 & Only Oneの技術

●基幹事業 自動車事業、産機・軸受事業、工作機械・システム事業

●設立 1935年(昭和10年)

●資本金 455億9,100万円

●従業員数 連結 45,018人

会社の強み・社風 トヨタグループ主要13社の1社として、私たちにしかできないNo.1 & Only Oneの技術で幅広く、深く、社会に貢献してきました。新たな技術を進化させることで、持続可能な時代のニーズを捉え、社会の実現に向けたさまざまな組み合わせを進めています。

〒448-8652 愛知県刈谷市朝日町1-1 TEL 0566-25-7323 URL https://www.jtekt.co.jp/recruit/

フジパングループ本社 経

「本仕込」のフジパンです!

●基幹事業 パン・和洋菓子の製造と販売のほか、物流、パン製造販売店の運営など

●設立 1951年(昭和26年)

●資本金 46億8,200万円

●従業員数 約14,470人

会社の強み・社風 フジパングループでは、製パンのみではなく四つの事業を展開しています。「ホールセール」「リテイア ビジネスを展開するル」「デリカ」 「ロジス」 ことで、常に変化す ティックス、グルー お客様のニーズに 全体で多彩な食品 お応えしています。

〒467-8651 名古屋市長瀬区松園町1-50 TEL 052-831-5152 URL https://www.fujipan.co.jp/company/

近畿・中国・四国 鉄鋼業界 カフェテリアプラン

株式会社
神戸製鋼所
加古川製鉄所

「素材系事業」「機械系事業」「電力事業」を通して社会の発展に貢献 働きやすい職場環境で「健康経営優良法人ホワイト500」に選定

日本の鉄鋼業界における大手企業として存在感を示す株式会社神戸製鋼所（本社・神戸市、勝川四志彦代表取締役社長）。同社の鉄鋼生産の約8割を担っているのが加古川製鉄所（兵庫県加古川市）だ。加古川製鉄所の総務部労働室・橋本浩幸氏を訪ね、事業内容や求める新卒者の人材像などについてお話をうかがった

売上高は2兆5,500億円以上
1万人以上が働く加古川製鉄所

明治38（1905）年に創業した株式会社神戸製鋼所は、120年以上の歴史を持つ伝統ある企業です。グループ会社を含めた連結従業員数は3万9,000人以上であり、令和6年度における売上高は2兆5,500億円を超えるなど、日本を代表する大手鉄鋼メーカーとして知られています。



加古川製鉄所 総務部 労働室
橋本 浩幸 氏

主な事業内容としては、「素材系」「機械系」「電力」を3本柱として、幅広い事業を展開しています。

神戸製鋼所は全国各地に支店や生産拠点を構えています。その中でも加古川製鉄所は当社における最大規模の基幹工場であり、現在は1万人以上のスタッフが働いています。ここでつくられた鉄鋼などは、自動車や造船、鉄骨等のさまざまな分野で使われ、人々の生活を下支えています。また、神戸市と淡路市を結ぶ明石海峡大橋やあべのハルカス（大阪市）、東京スカイツリー（東京都墨田区）といったシンボリックな建築物にも当社の材料が活用されています。

5年間で一人立ちへ導く育成手法 手厚い研修制度で着実に成長

新卒者の採用活動に関しては、例年新規高等学校卒業者を約70人、新規大学卒業者を約20人採用しています。

当社では入社後5年間を一人立ちするまでの成長期間と捉えています。入社後の1カ月間は「新入社員研修」が行われ、ビジネススキルの習得や神戸製鋼所の企業理念などについて理解を深めていきます。その後は現場実習等を経て各部署に配属となりますが、当社では入社後3年間は社員一人につき「OJTリーダー」と呼ばれる先輩社員がマンツーマンでつき、OJTリーダーの指導のもとで実際の業務遂行に必要な知識とスキルを習得していきます。また並行して、クレーン運転や溶接、フォークリ



1万人以上のスタッフがイキイキと働く加古川製鉄所



圧延ラインの設備をコントロールしている熱延運転室

フト運転などさまざまな資格を取得してもらいますので、着実にステップアップしていくことができます。また、3年間が経過した後も役職や役割に応じて「階層別研修」が行われるため、5年間が経過する頃には神戸製鋼所の中核社員としての活躍が大いに期待されます。

いるほか、自己啓発や育児・介護、旅行、帰省などにかかった費用の補助が受けられる「カフェテリアプラン」と称する制度も設けています。この制度を活用すると年間で8万5,000円まで会社から補助を受けられるため、多くの若手社員から好評です。給与や退職金等も含めた待遇面にはかなり自信を持っており、生活面も安定して、安心して暮らしていくことができる環境を用意しています。

採用時に重視する三つの柱 社員のための福利厚生制度

当社が採用時に重視しているのは、「チームで仕事をするためのコミュニケーション能力」「安全等のルールを守る誠実さ」「物事をより良くしていく改善の意欲」の三つです。特に製鉄所は一步間違えれば大惨事につながる危険性がないとは言えないため、コミュニケーション能力があり、ルールや規律をしっかりと守れる意欲ある若者を求めています。

また、すべての社員にとって働きやすい職場環境づくりにも力を注いでおり、有給休暇の年間平均取得日数は17～18日程度となっています。ワーク・ライフ・バランスが取りやすい会社のため、経済産業省と日本健康会議が認定している「健康経営優良法人ホワイト500」にも選定されています。4直3交替勤務がメインなので、そこは大変なところですが、健康に過ごせるよう、会社としてもサポートしています。

製鉄所勤務というイメージされがちですが、当社では工業科はもちろん、普通科出身の高校新卒社員も多数活躍しています。教育・研修制度が充実しており、業務に必要な知識は入社後にイチから身につけられますので、その点の心配は不要です。

株式会社神戸製鋼所は、人々の日常生活を下支えする魅力あふれる事業を展開しています。ぜひ当社に興味を持っていただければ嬉しく思いますし、たくさんの仲間と共にやりがいをもって働きながら、仕事も生活も楽しめる、そのような未来を一緒に目指していきましょう。

また、福利厚生制度も充実しており、リーズナブルな独身寮や社宅を用意して

入社2年目▶高校新卒就職者 特別インタビュー

魅力的な職場環境で成長を実感しながら職務に邁進

私は高校を卒業した後の令和6年4月に入社しました。現在は2年目を迎え、加古川鋼片室という部署で働いています。日々の業務としては、加古川製鉄所第2分塊工場内で運転オペレーターとして設備機器の操作や担当現場における点検・補修作業などを行っています。

加古川製鉄所は24時間稼働



徳永 清太郎 さん
（専修大学熊本玉名高等学校出身）

働いているため、勤務は①7時15分～15時②15時～22時③22時～7時15分の3交代制で働いています。交代勤務の社員の場合、年間20日間の有給休暇に加えて14日間の指定休が与えられるなど、年間の休日数が比較的多いのは当社の魅力の一つだと思います。

また、完備されている社宅や寮に入れば、民間に比べて住居費を安く抑えることも可能です。さらに、仕事とプライベートの両立を支援するという趣旨に基づいて、さまざまな費用の一部を会社が負担する「カフェテリアプラン」という制度もあります。

入社後間もない頃は機械や

設備の仕組みを理解するのに苦労しましたが、先輩社員が基礎・基本から丁寧に優しく教えてくれたため、現在は日々やりがいを感じながら働くことができます。今後も品質と安全を第一に考えながら、神戸製鋼所の発展に貢献していくつもりです。

入社後は交替勤務や大型設備の理解、また構造把握等で苦労するかもしれませんが、それを乗り越えればきっと充実した日々が待っているはずですので、当社に少しでも興味・関心のある高校生のみなさんに対しては「一緒に“神鋼マン”として働ける日をいまから楽しみにしています」と、エールを送ります。

株式会社神戸製鋼所 加古川製鉄所

協働し、挑戦し、未来を造る

●基幹事業 鉄鋼・非鉄金属およびその合金の製造販売など
●代表者 代表取締役社長 勝川 四志彦
●設立 1911年(明治44年)
●資本金 2,509億円
●従業員数 11,895人(単体)

会社の強み・社風

会社としてはさまざまな事業があること、鉄鋼事業としても自動車向け特殊鋼などで独自の高い技術力があることが強みです。また、当社で働く上での魅力は、待遇面や働きやすさに加え、自由闊達で意見の言いやすい雰囲気があり、プライベートを含めて社員全員が仲良く過ごしていることです。

高校生のみなさんへ

株式会社神戸製鋼所に洗練された技術をもつ加古川製鉄所は、兵庫県最大の河川「加古川」のほとりであり、豊かな緑に包まれた美しい製鉄所です。入社後は巨大な設備を運転したり、メンテナンスをしたりするダイナミックな仕事に携わることができます。たくさんの仲間と共に、協働し、挑戦し、未来を造る鉄作りにチャレンジしてみませんか？



問合せ 〒675-0137 兵庫県加古川市金沢町1
TEL 079-436-1979 URL https://www.kobelco.co.jp/

備考 [神戸本社] 〒651-8585 神戸市中央区脇浜海岸通2-2-4
[東京本社] 〒141-8688 東京都品川区北品川5-9-12 ONビル

九州・沖縄

ブドウ酒商品「佐農の雫」

佐賀県中小企業団体中央会 労働事情実態調査

佐賀県立佐賀農業高等学校

体験授業で身につける農業のノウハウ 摘粒したブドウから製造する「佐農の雫」

佐賀県立佐賀農業高等学校（佐賀県杵島郡白石町、三原聖子校長）の開校は明治28年。令和7年度で創立130年を迎え、農業分野の伝統と技を継承すると共に時代の変化に対応できる人材の育成に力を入れている伝統校だ。令和7年度から、生徒が企業と連携して取り組んでいる「ブドウ酒の製造」にフォーカスする。

●地域を支える農業人の育成

「汗をかき人と和して己を磨く」をスローガンに掲げる佐賀農業高校は、明治28年の開校以来、農・食・環境に関する学びを通して主体的に地域課題を解決して地域を支える人材の育成を目標にしている。

「農業科学科」「食品科学科」「環境工学科」の3学科を設置しており、いずれの学科も現場での経験を重視した教育活動や外部のスペシャリストによる直接指導を行うなど、専門的な学びの機会を積極的に創出し



全体で120kgものブドウが摘粒された

ている。

学科ごとの特徴的な学びについて見ていこう。農業科学科は、「生産技術」と「動物・草花活用」の2コースに分かれる。生産技術コースでは、作物やトマトなどの野菜、ブドウなどの果樹の栽培・加工を中心に学ぶ。動物・草花活用コースでは、動物の飼育や草花の栽培を通して動物セラピーや植物バイオテクノロジーの基礎を学習する。

食品科学科は「食品製造」と「流通実践」の2コースを設けている。食品製造コースではパンや菓子などの食品の製造を中心に学んでおり、2年次に進級すると1カ月間に一回、生徒が主体的に運営する「高校生ケーキカフェ」「サノ・ポヌール」で販売を行う。ま

た、流通実践コースでも、生徒主体で製造・仕入・販売・会計処理を行う生産物販売所「サノン・マルシェ」を地域のイベントに出展するという。

環境工学科は「農業土木」と「環境デザイン」の2コースに分かれて環境クリエイティブのスペシャリストを育成する。農業土木コースでは土木建造物建設に必要な技術を学び、環境デザインコースでは造園技術やフラワーデザインの授業を通して住環境やデザイン装飾について学んでいく。

●摘粒ブドウから新商品開発

佐賀農業高校はこれまでさまざまな作物を栽培してきた。中でもマスクメロンやスイートコーンは学校独自のブランド「さのみり」シリーズとしての販売実績を積み重ねている。ブドウもさのみりシリーズの一つだ。果皮が紫黒色で大粒な実が特徴の「藤稔」とい

う品種として知られ、房ごと箱詰めしたものや飲むブドウ酢「佐農っす」に加工して販売する。

令和7年度、佐賀農業高校はブドウを使用した新しいブドウ酒の商品化・販売を目指す取り組みをスタートさせた。これは、ブドウを栽培する過程で、房や果粒を大きくするために摘粒・摘房されてしまうブドウを再活用した商品のこと。本来であれば廃棄処分対象のものに着目し、農業経営に関する授業で学んだ知識や技術を活用してブドウ酒の商品化に向けて動き出した。製造には、元禄1(1688)年創業の合資会社光武酒造場(佐賀県鹿島市)が協力し、生徒は摘粒したブドウ20kgを提供。1本当たり720mlのブドウ酒がおおよそ100本分生産できる計算だという。

●「佐農の雫」販売への道のり

ブドウ酒販売に向けて生徒が次に取り組んだのは、商品のネーミングとラベルづくりだ。「一滴一滴心を込めて育てたブドウを使っている」という意味を含め



6次産業化を身をもって実感

て「佐農の雫」と命名。この際には、授業で身につけた商標権に関する学びが活かされたようだ。また、ラベルも作成した。高級感イメージが漂う黒色のラベルと佐賀農業高校のブドウを使用していることを表すブドウのイラストを印象的に配置した。

「佐農の雫」の販売開始は令和8年3月頃を予定している。商品化実現に向けて佐賀農業高校は、商品のピーアール活動に努めるほか、酒類の販売に関してさらに学んでいくために今回の製造に携わった光武酒造場とのさらなる連携を深めていくという。

今回の取り組みを通して、今後さらに成長していくであろう佐賀農業高校の生徒の活躍が楽しみだ。



「高校卒・技術」が他の学歴・技術よりも高水準 「高校卒・事務」の初任給は「全国」に比べてやや低調

●全国一斉実施の実態調査

全国中小企業団体中央会(本部東京・中央区)は、中小企業組合をはじめとする連携組織の発展を支援する団体だ。中小企業の設備の近代化や技術の向上・開発、経営の合理化・融合化、取引環境の改善など、さまざまな事業を構成組織である各都道府県中央会と連携を取りながら行っている。中小企業に関連する調査研究も事業の一つだ。

『中小企業労働事情実態調査』もその一つで、昨秋には、令和7年度の結果が公表された。

『中小企業労働事情実態調査』は、中小企業における労働事情を的確に把握し、適正な労働対策を樹立することを目的に行われるもので、毎年全国一斉に実施されている。主な調査項目は「従業員の労働時間」「原材料費、人件費(賃金等)アップ等に対する販売価格

への転嫁状況」「同一労働同一賃金」「賃金改定」などだが、ここでは、「令和7年3月新規学卒者の採用状況」における「佐賀県」の結果を「全国」との比較などから見ていこう。

●期待が高まる「高校卒・技術」

公表された資料によると、令和7年3月新規学卒者の採用状況のうち、「高校卒・技術系」の充足率が37.4%、「高校卒・事務系」

が34.1%だった。「全国」よりも、「技術系」では、6.8ポイント高かった反面、「事務系」では12.8ポイント下回っていた。

「令和7年3月新規学卒者の初任給」を見てみると、「高校卒・技術」が19万1,355円と、全国の18万9,667円を上回ったものの、「高校卒・事務」では17万7,795円と、全国の18万4,481円を下回っていた。特筆すべきなのは、この「技術系」の初任給は、佐賀の他の学歴区分の「技術系」——「専門卒」「短大、高専卒」「大学卒」が「全国」



を下回っている中で、唯一「全国」を上回っている点だろう。

また、「前々年度」「前年度」からの推移を見てみると「高校卒・技術」が17万2,506円→17万6,294円→19万1,355円、「高校卒・事務系」が16万2,080円→17万286円→17万7,795円と、いずれも大きな上昇傾向を描いていることが分かった。

株式会社ヤマサキ

最高の技術で社会に貢献

●基幹事業 プラント・エンジニアリング、鉄鋼・設備・設備工事関連 など

●設立 1969年(昭和44年)

●資本金 45,000,000円

●従業員数 588人

●社名の由来 当社は、鉄を生み出すための設備を造る「築炉」という事業を行っています。ミリ単位の精度で数千枚のレンガを積み上げ、創業から150年以上続く鉄をも溶かす超高温に耐える設備を築き上げ「当たり前」を支え、今後の仕事です。明治8年の社会に貢献します。

〒837-0911 福岡県大牟田市大字橋11
TEL 0944-58-1366
URL https://www.yamasaki-grp.co.jp/

株式会社ハンズマン

住まいと暮らしのお手伝い

●基幹事業 ホームセンターの運営、接客、発注、品出し、レジ対応、在庫管理など

●設立 1964年(昭和39年)

●資本金 10億5,750万円

●従業員数 1,367人(令和7年6月末時点)

●社名の由来 当社は、お客様に「100本入りのストローを1本だけ売って欲しい」と言われれば、「もちろんです!」とお客様を幸せにするお客様の目の前で袋から取り出し小売りすることが出来ます。目の前のお客様を幸せにするおまんこのやりの精神がハンズマンのやりがいがあります。創造 革新的技術を追及し、グローバルに、ミライのクルマづくりを求めています。創造 革新的技術を追及し、グローバルに、ミライのクルマづくりを求めています。

〒885-0006 宮崎県都城市吉尾町2080
TEL 0986-38-0847
URL https://www.handsman.co.jp/

MAS ミネベアアクセスソリューションズ

“ミライのクルマをつくる”

●基幹事業 自動車やバイクに関する部品の開発・製造・販売

●設立 1962年(昭和37年)

●資本金 215,000万円

●従業員数 7,934人

●社名の由来 当社は1962年(昭和37年)にホンダロックとして創業し、ドアミラーなどの自動車部品を構成する重要な部品を開発から製造・販売まで一貫して手がけています。創造 革新的技術を追及し、グローバルに、ミライのクルマづくりを求めています。

〒880-0293 宮崎県佐土原町下那珂3700
TEL 0985-73-1211
URL https://minebea-accesssolutions.com/

会員企業 募集!!

キャリア教育 支援協議会

高卒採用は宝の山

森部好樹 著、日経BP社 発行

成長企業は 高校新卒者を 積極採用していた!

将来の伸びしろが大きく、多彩な現場で活躍できる高校新卒者の採用実態、社員のインタビューなどを豊富に掲載。スタート・アップ、ベンチャー、中堅・中小企業のための理想的な人材獲得戦略を指南する一冊です。

▲定価1,540円(本体1,400円)

お問い合わせ カリヤ教育支援協議会
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1668 営業 ☎ 03-5925-1705
E-mail info@daigakushinbun.com
URL https://daigakushinbun.com/

キャリア支援 & 就職ジャーナル

キャリア教育支援協議会

制作・発行 大学新聞社

発行日 令和8年1月28日

発行人 白田康則

編集人 川窪達也

取材・執筆・編集 加藤陽一 鬼頭 葵 川井仁美 島崎八枝 森田 菜 小笹智月 小山内暢子 津谷紗月 増田彩夏

紙面デザイン&DTP制作 ● 三井加洋子 樋田敬行

*本紙の記事・写真、および図版等の無断転載、複製、転写、翻訳を禁じます。 [V-3330.467535E]

◎大学新聞社 2026 Printed in Japan

●ご意見・ご感想をお寄せください
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
編集 ☎ 03-5925-1668 営業 ☎ 03-5925-1705
E-mail info@daigakushinbun.com
URL https://daigakushinbun.com/

スリランカの教育トピックス vol.3

日本留学フェア in 「EDEX Expo 2026」

現地の教育・キャリア展示会に初出展
日本留学・就職に若者の関心集まる

「聖地アヌラダプラ」や「古代都市ポロンナルワ」といった仏教寺院などの世界遺産をはじめ、紅茶(セイロンティー)や寶石などの世界的な産地として知られるスリランカ民主社会主義共和国。英国から独立した後、南アジア有数の経済成長を遂げる一方、ここ数年は深刻な経済危機の行方にも注目が集まっている。本稿では、スリランカの教育制度や京都府内の高校生による国際交流の取り組みのほか、1月16～18日にかけて現地で開催された「EDEX Expo 2026」内での「日本留学フェア in スリランカ」の様子を報告する。

スリランカの教育制度
大学進学は狭き門に

国際交流基金(本部東京・新宿区)によると、スリランカの教育制度は初等教育5年間、下級中等学校4年間、上級中等学校(Oレベル)2年間、高等学校(Aレベル)2年間というように、「5-6(4・2)-2制」となっている。義務教育は2016年以降、5歳から16歳までに改められた。上級中等学校の卒業時、および高校卒業時には、国の試験が用意されており、それぞれ、「General Certificate of Education Ordinary Level (Oレベル試験)」と、

「General Certificate of Education Advanced Level (Aレベル試験)」と、呼ばれている。11年次生の12月に高校入学資格試験に相当する「Oレベル試験」を受験・合格すると高校進学資格が与えられ、約2年間の教育を受ける。その後、大学入学資格試験に相当する「Aレベル試験」に臨み、合格すると大学入学資格が与えられる仕組みとなっている。

公用語はシンハラ語とタミル語だ。英語はこの両言語をつなぐ言語(連結語)との位置づけで、初等教育の入学時から英語を第一外国語として必修で学び始め

る。日本語は、1979年にAレベル試験の選択科目として、2001年にはOレベル試験の選択科目として導入された。そのため、スリランカ現地では10年次生(上級中等学校)からの学習が可能だ。しかし、スリランカでは設備や予算の関係で大学の入学定員枠が限られており、大学入学資格を得た者すべてが実際に大学に入学できるとは限らないという特徴がある。

スリランカでは過去数十年間にわたって、若年層の失業率の高さが深刻な社会問題となっている。特に高学歴層の失業率が高いとされ、「Aレベル試験」合格者はもちろん、さらなる高等教育機関に進学した者ほど、失業率が高い傾向にあるとされるほどだ。

失業率の高さに関連して言及したいのが、女性の労働力率が男性よりも低い実態があることだ。この点を考える上で、国際協力機構(JICA、本部東京・千代田区)が23年5月に公表した『スリランカ民主社会主義共和国 起業とビジネス、リーダーシップ及びネットワークの強化を通じた女性の経済的エンパワメント促進プロジェクト詳細計画策定調査報告書』の内容が興味深い。この報告書は、JICAが日本の政府開発援助(ODA)の枠組み内で「起業とビジネス、リーダーシップ及びネットワークの強化を通じた女性の経済的エンパワメント促進プロジェクト」を行うに当たり、まとめたものだ。これによれば、スリランカは21年後半から物価上昇と外貨不足、債務不履行の状況に直面し、22年には経済危機に陥った。経済状況の悪化は特に女性に深刻な影響を及ぼしており、女性の経済的エンパワメントを推進することが喫緊の課題となっていると概説した。

同報告書では、スリランカの「女性・子ども・社会的エンパワメント省」が示した統計資料等を引用する形で、20年時点のスリラ

対面式の日本留学フェア
EDEX Expo内で初開催

進路情報研究センター・ライセンスアカデミー(本社東京・新宿区)は1月16～18日、Bandaranaike Memorial International Conference Hall (BMICH、スリランカ・コロombo市)で「日本留学フェア in スリランカ」を開催した。会期中はBMICHで「EDEX Expo 2026」が実施され、三日間で合わせて約5,000～6,000人の来場者を迎えた。

EDEX Expoはスリランカでも屈指の規模の教育・キャリア展示会として知られ、2004年から毎年開催されている。南アジア地域における教育および就職を含めたキャリアの最新機会を直接発信できる貴重な場となっている。

EDEX Expo 2026の会場では、スリランカの国内・外の大学・専門学校・留学関連団体が多数出展し、欧米およびオセアニア留学関連のブースを中心に活況を呈していた。EDEX Expo 2026内で開かれたラ社の「日本留学フェア in スリランカ」は、来場者がブースを自由に移動して説明を受けることができる方式で進行した。三日間で約100人前後の参加者が詰めかけ、その多くはブースに長く滞在して日本留学に関する説明に熱心に耳を傾けた。日本への進学だけではなく、日本での生活環境や文化に関心を示す者が多く見受けられたほか、日本語学習や将来の就職を見据えた相談も少なくなく、日本に対する関心の高まりが感じられた。ラ社は9月中旬にも「日本留学フェア in スリランカ」をコロombo市で開催予定だ。

京都府内の高校生が歓待
喫茶文化で深める相互理解

スリランカと日本の高校生との交流に関するトピックスとして、昨年7月9日に京都府立園部高等学校(京都府南丹市)の生徒が日本の抹茶とスリランカの紅茶をツールに、D・Wアルッガマゲ前在阪スリランカ名誉領事らと国際交流をしたことを紹介したい。これは「きょうとまるごとお茶の博覧会」の一環として、大阪・関西万博を契機に京都府内の高校などの生徒が万博参加国の出身者をお茶でもてなすというものだ。

当日は、吟詠剣詩舞部の生徒が舞を披露した後、茶道部の生徒がアルッガマゲ前名誉領事ら3人に呈茶した。続いて、アルッガマゲ前名誉領事らから生徒に向けて、スリランカの魅力や日本とスリランカの関係などが説明された。その後、スリランカのウバ地方で採れた紅茶が生徒に振る舞われた。参加した生徒にとって、喫茶文化から異文化理解を深める貴重な機会となったようだ。



スリランカ・日本の学校教育制度(概略)



*外務省・文部科学省の発表資料などをもとに編集部で作成。いずれも複数存在する学校系統・ルートの中から代表的なものを抜粋しているため、修業年限や接続の仕方など、これによらないものもある。また、所定の学校卒業・修了・指定単位の修得等を基礎資格として実現する他の学校等への編入学については基本的に割愛。なお、海外諸国・地域に関しては、現地の制度変更等により、ここに示す情報と最新の状況が異なる可能性がある